

ファミリー活動

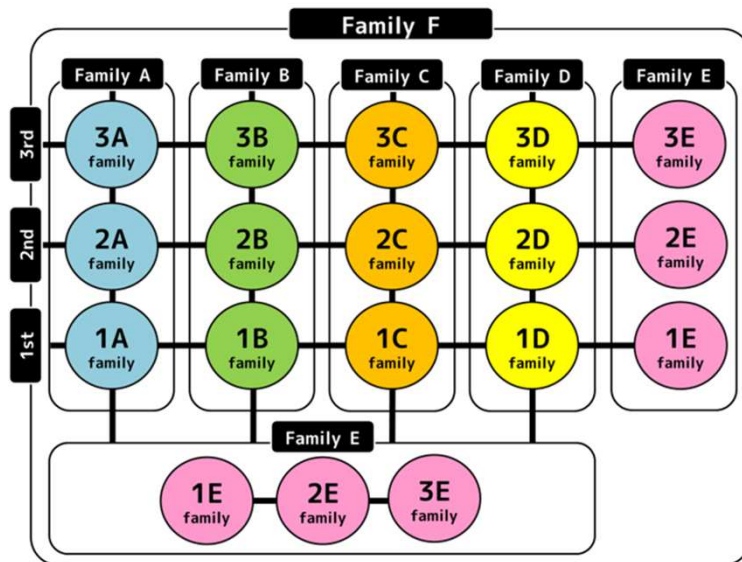
たてのつながりのなかで

社会に参画する準備を



ファミリーってなに？

宮大附属中にはたくさんのファミリーがあります。右図のように縦のつながりや横のつながりを強くしながら、協力しながら学び合う組織のことをファミリーと呼んでいます。ファミリー活動は、学校行事のときはもちろん、普段の学校生活をより豊かなものにしてくれるものです。



たてのつながりのなかでは、先輩と後輩の関係をつくっていくことができます。社会に出れば、様々な年齢層の人たちと協力しながら仕事をする事がほとんどです。そのなかで、自分の役割を見出し、仕事に取り組んでいくことで社会に参画する（ともにつくっていく）ことができるようになります。このような意味では、ファミリー活動は“社会の縮図”だと言えるでしょう。



1年生に求められることは？

ファミリー活動に取り組むなかで、1年生に求められることがあります。それは、先輩の“すごさ”を発見していくことです。宮大附属中には、魅力的な先輩たちがたくさんいます。その先輩たちの“すごさ”を自分なりに発見し、言葉にしていくことが大切です。“すごさ”を発見すればするほど、自分が先輩の立場になったときのふるまいが変わってくるでしょう。そして、先輩たちとともに活動することで、自分自身の成長をさらに加速させるとともに、自分が所属しているファミリーそのものの成長にも貢献していくことが求められています。



あなたが理想とする“先輩像”とは？

E級との交流活動

E級とつながることで

ともに成長し合う関係を



E級教室はどこに？

宮大附属中にはE級（特別支援学級）があります。1年生から3年生まで17人の仲間が学習や活動に取り組んでいます。

E級の教室は、西棟2階にあります。保健室の上、美術室の下、理科室の横……まずは一度、E級教室に遊びに行ってみましょう。同じ1年生の教室は、校舎入口のいちばん近くに 있습니다。担当は池田寛法先生です。「みんなでのしく交流しよう！待ってるよ！」



みんなでのしく
交流しよう！
待ってるよ！



どんな交流ができるの？

楽しく会話をしながらお昼ご飯を一緒に食べる。ビオトープに行って一緒に収穫する。七夕の飾りを一緒につくる。昼休みに一緒に遊ぶ……などなど、E級の仲間たちとの交流のしかたはたくさんあります。

各クラスにはE級交流委員という仕事があります。これは、クラスぐるみの交流活動を企画したり、運営したりする仕事です。交流活動に興味がある人はぜひ立候補していきましょう。また、交流を深めていくなかで、「もっとこんな活動を一緒にやってみたいな」「こんな活動ができたらいいな」と思ったら、ぜひ、クラスみんなやE級交流委員と相談して、実現させていきましょう。どんな交流ができるか、それはみなさんのアイデアと実行力次第です。



どんな交流をやりたい？